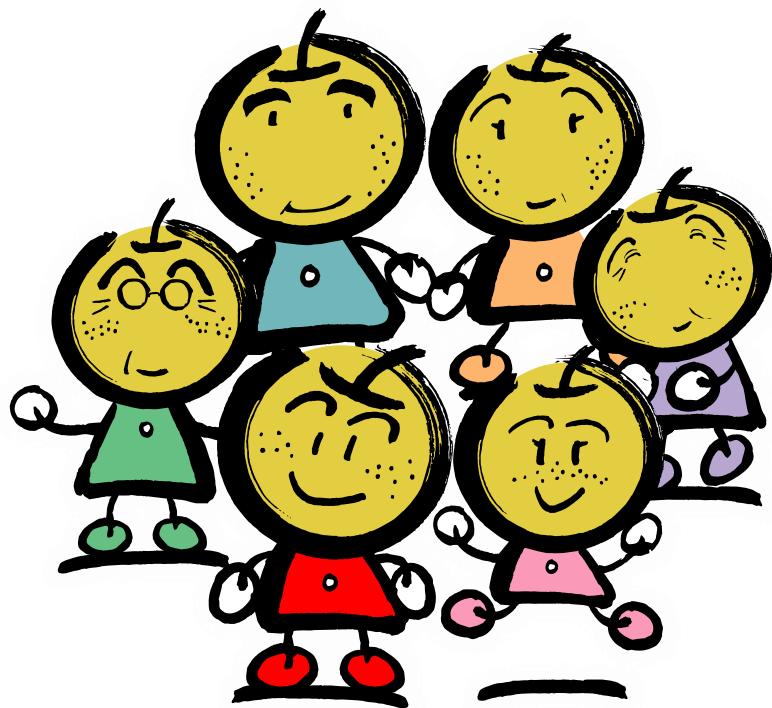


教育委員会の権限に属する事務の管理及び
執行の状況に係る点検及び評価に関する報告書
(令和 6 年度事業対象)



令和 8 年 1 月
白井市教育委員会

はじめに

白井市教育委員会では、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条第1項の規定に基づき、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を実施し、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しています。

この報告書は、市教育委員会が令和6年度に実施した事務事業の取り組みについて、点検及び評価を行い、事務事業の改善・見直しを進めながら効率的・効果的な教育施策の推進に資するため、取りまとめたものです。

今回の点検及び評価にあたっては、白井市教育振興基本計画-eなしプラン-（令和3年3月策定）を基に、53の取り組み項目について点検及び評価を行っています。

＜参考＞

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

目 次

第1章 教育大綱	1
第2章 点検及び評価方法	2
1 点検及び評価の対象	
2 点検及び評価の実施体制	
3 点検及び評価の観点	
(参考) 白井市教育振興基本計画 体系一覧	3～
第3章 点検及び評価結果	5～
教育委員会の活動状況	23～

第1章 教育大綱（令和3年度～令和7年度）

【基本理念】



【基本方針】

1 育てます。未来を生き抜く力 【学校教育】

次世代を生きる子どもたちに、安全安心な教育環境、多様な教育活動のもとで、確かな学力、豊かな心、健やかな体を基盤とした「未来を生き抜く力」を育てます。

2 支えます。子どもの笑顔 【家庭教育】

学ぶ機会を提供し、地域で家庭教育を支える仕組みを作り、すべての学びの基盤となる家庭教育を支えます。

3 結びます。人と地域と学び 【社会教育】

市民だれもが身近で気軽に立ち寄ることができる地域の拠点を生かして、人と地域と学びの場を結びます。

4 応援します。みんなの学び 【生涯学習】

市民だれもが生涯を通して、スポーツ、文化、芸術、郷土の歴史等、自己を高める学習活動を応援します。

第2章 点検及び評価方法

1 点検及び評価の対象

点検及び評価については、白井市教育振興基本計画- e なしプラン- における主な取り組み 5 3 項目を対象に行いました。

2 点検及び評価の実施体制

点検及び評価の実施に当たっては、事前に担当課等が自己評価した事務事業評価シートをもとに、教育長及び教育委員 4 人、学識経験者 3 人から意見・助言をいただき、実施しています。

令和6年度の事業の進捗状況などから評価した各事業の総合評価を、以下のとおり記載しました。

【総合評価】

- A : 現状の取組や進め方のとおり進めて良い
- B : 施策の方向性は良いが、取組内容や進め方などに一部の改善や見直しを加えて進めるべき
- C : 施策の一部について設計を見直すなど、取組内容や進め方などに大きな改善が必要である
- D : 施策全体の設計を見直すべき

3 点検及び評価の観点

必要性、有効性及び効率性の観点から点検及び評価を行ったうえで、事業の課題などを抽出し、今後の事業の改善により期待される効果等について検討します。

(参考) 白井市教育振興基本計画 体系一覧

7 計画の体系

基本方針 I 【学校教育】 育てます。未来を生き抜く力

方針

施策

主な取り組み

1 確かな学力の育成

(1) 「主体的・対話的で深い学び」を進め、学力向上を図る取り組みの推進

- ① 意欲を高める学びの創造プロジェクト
- ② ● 教育課題調査研究事業（学習振り返り調査）
- ③ 学校支援アドバイザー（学力）の活用

(2) 個に応じたきめ細かな指導・支援の充実

- ① ★補助教員配置事業

(3) 外国語によるコミュニケーション活動の充実

- ① ● A L T 配置事業

2 豊かな心の育成

(1) 「考え、議論する道徳」の授業の推進

- ① 授業研究会の実施

(2) 豊かな人間関係を育む学級づくりの推進

- ① ● 教育課題調査研究事業（Q-U 調査）

(3) いじめ防止対策の推進

- ① いじめ対策調査会事業

3 健やかな体の育成

(1) 体力向上を図る取り組みの推進

- ① 意欲を高める体育活動の創造プロジェクト
- ② ● 教育課題調査研究事業（新体力テスト）
- ③ 学校支援アドバイザー（体育）の活用

(2) 学校保健・学校安全の推進

- ① 保健・安全教育の充実と管理の徹底

(3) 学校給食の充実と食育の推進

- ① ● 小中学生の栄養指導事業

4 特別支援教育の推進

(1) 一人ひとりの教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進

- ① ● 特別支援教育事業

5 多様な教育的ニーズへの対応

(1) キャリア教育の充実

- ① ★地域人材活用事業

(2) 不登校の児童生徒への支援の充実

- ① ● 適応指導教室事業

(3) 教育相談の充実

- ① ● 教育相談事業

(4) グローバル社会で活躍できる人材の育成

- ① ● 青少年国際交流事業

(5) 日本語指導が必要な児童生徒への支援の充実

- ① ★補助教員配置事業（日本語指導）

6 学校のICT化

(1) 授業等でのICT化・オンライン化の推進

- ① ★教育の情報化推進事業

- ② 授業でのICT活用プロジェクト

- ③ 学校支援アドバイザー（ICT）の活用

(2) 教職員校務のICT化の推進

- ① 校務支援システムの有効活用

7 読書活動の推進

(1) 学校図書館の機能の充実

- ① ★補助教員配置事業（読書活動推進）

8 教職員の育成

(1) 教職員研修への支援の充実

- ① ● 教育課題調査研究事業（教職員研修）

(2) 教職員の職場環境の整備・充実

- ① 教職員の働き方改革の推進

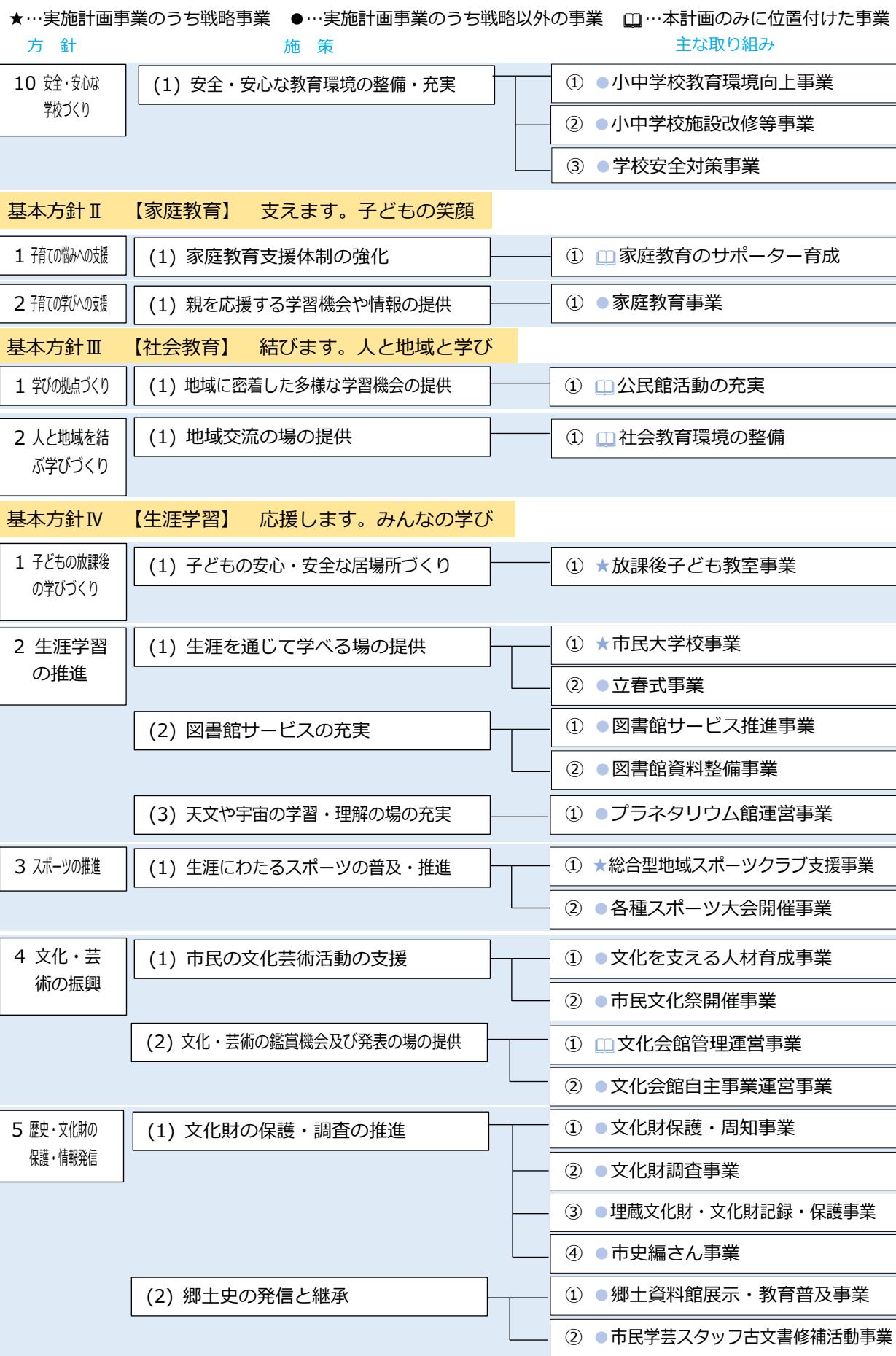
9 特色ある学校づくり

(1) 地域との連携・協働の推進

- ① コミュニティ・スクールの調査・研究、導入

(2) 小中連携教育の推進

- ① 小中一貫教育・義務教育学校の調査・研究



第3章 点検及び評価結果

●基本方針I 育てます。未来を生き抜く力【学校教育】

次世代を生きる子どもたちに、安全安心な教育環境、多様な教育活動のもとで、確かな学力、豊かな心、健やかな体を基盤とした「未来を生き抜く力」を育てます。

事業名		事業概要
意欲を高める学びの創造プロジェクト		
事業コード	I-1-(1)-①	これまで、学習の評価としてテストの点数や通知表の評価・評定が気にされがちであったが、今後は、学習の入り口である学習意欲に焦点をあて、授業改善に取り組む。
担当	教育支援課	
総合評価	A	
質問・意見・提案		担当課回答
自分で考え、判断し、自分の言葉で表現できる子の育成。高い目標ではあるが、着実に積み上げていっていただきたい。		学校教育に対するご意見として承ります。

事業名		事業概要
教育課題調査研究事業 (総合学力調査・Y-Pアセスメント・新体力調査・教職員研修)		<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の学習のつまずきを調査・分析し、理解が不十分な部分を明らかにし、学習を振り返らせることで、理解を深め、学習意欲の向上につなげていく。 学級集団の調査結果をもとに学級の様子を客観的に分析し、よりよい学級づくりに役立てていく。また、調査結果の効果的な活用についても、教職員の研修等を行う中で、深めていく。 児童生徒の体力向上のため、調査の結果を用いて課題に応じた指導・支援をしていく。また、児童生徒自身が自分の体力を知るとともに、課題に応じて運動に取り組もうとする意欲を養う。 学力・体力の向上に向け、意欲に焦点をあてた学習指導・体育指導の具体的な指導方法について研修を行う。また、ICTの実用研修を進め、授業におけるICT活用の定着を図る。
事業コード	I-1-(1)-② I-2-(2)-① I-3-(1)-② I-8-(1)-①	
担当	教育支援課	
総合評価	A	

事業名		事業概要
学校支援アドバイザー (学力・体育・ICT)の活用		<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の学力向上に向け、学習への意欲や「主体的・対話的で深い学び」の視点から、授業・学級経営・生徒指導等、総合的な見地から専門的なアドバイスを受け、小中学校全校共通に指導方法改善に取り組む。 学校支援アドバイザーの学校訪問を通して、体育科授業の改善を図る。特に、運動経験が少なく、苦手意識のある児童生徒への支援の充実を図る。また、児童生徒の体力向上と健やかな体の育成に向け、学校の教育活動全体を通じた指導と家庭との連携を図る。 ICT担当学校支援アドバイザーを活用し、授業でのICT機器の効果的な活用場面や活用方法についてアドバイスを受ける。また、授業準備、ワークシート等の作成、授業での児童生徒や教師への支援を行う。
事業コード	I-1-(1)-③ I-3-(1)-③ I-6-(1)-③	
担当	教育支援課	
総合評価	A	

事業名		事業概要
補助教員配置事業 (学校・日本語指導・読書活動推進)		<ul style="list-style-type: none"> ・きめ細やかな指導を実施するため、補助教員を配置し、個別指導の実施や TT 指導（複数教員による指導）などにより、児童生徒の学習意欲を向上させ、主体的・対話的で深い学びができるよう支援する。 ・近年増えてきている外国籍の児童生徒が他の児童生徒と同じように学校生活が送れるよう、母語が話せる、日本語指導の補助教員を小中学校に配置し支援を行う。 ・児童生徒の読書活動の充実を図るため、全小中学校に読書活動推進補助教員の配置を行い、児童生徒が読書に親しむ姿勢を養うと共に、図書を活用した授業が円滑に行えるよう、授業の支援を行う。
事業コード	I -1-(2)-① I -5-(5)-① I -7-(1)-①	
担当	学校政策課	
総合評価	A	
質問・意見・提案	担当課回答	
<p>① 配置した補助教員の人数が減少している理由は。</p> <p>② 施策内会議で、教員免許なしの枠も作るとある。免許があれば安心という訳ではないが、その採用に問題はないのか。</p>	<p>① 各校の児童生徒の状況に応じて配置した結果となります。年度途中に不登校児童生徒を支援する補助教員と日本語指導補助教員等を状況に応じて、対応した例もあります。</p> <p>② 教員免許を持っている職員の採用は望ましいですが、それだけでは、職員の配置を含め全体の業務を円滑に進めることができ難しい場合もあります。確実な人材確保のためにも、教員免許を持っていなくても、授業の補助や、生徒のケアなど学級担任等の補助的な役割を担うことを考えています。</p>	
読書活動の推進の主な取り組みとして、読書活動推進補助教員が各校に配置されており、大変有意義な取り組みだが、今後の ICT 活用の拡大を見据え、デジタル図書館の導入の「下調べ」を実施してみてはどうか。	<p>デジタル図書については、一時期導入しておりましたが、一度に人数無制限で使用することが難しいシステムであったため、学校での活用に広がりが見られず、令和 5 年度末で終了しました。</p> <p>今年度の学校の図書担当の研修会で読み放題型のデジタル図書館の活用について有効であるという意見が挙がっており、資料を集め、検討したいと考えております。</p>	
評価シート内に、現在日本語指導補助教員から外国籍児童生徒の人数と、中学校に設置された校内教育支援センターに通っている生徒数を記載すると、事業の必要性がより伝わるのではないかと考えました。	<p>今後の参考とさせていただきます。</p>	
<p>① 補助教員の中でも、急激に増える外国人とその子ども達に対応する補助教員の補充は急務だと思いますが、現実の児童生徒の数及びその国の言語を考慮しながらどの程度対応できていますか。</p> <p>② 児童生徒の数とその国別、補助教員の数、あるいは国別の補助教員の数及び予算の範囲で補充はできていますか。</p> <p>③ 人材確保のために教員免許なしでも OK の方向が出ていますが、その場合の採用基準はありますか。</p>	<p>① 各学校から日本語指導を必要としている児童生徒数を聞き取り、各校に配置しています。</p> <p>② 令和 6 年度に日本語指導を必要とした数はスリランカ 21 名、中国 11 人、英語等を母語にする児童生徒 15 人の 47 人、7 人の日本語指導の担当者が、各学校で支援を行いました。英語、シンハラ語、中国語、スペイン語、フランス語の対応が可能であり、予算の範囲内で支援を行いました。</p> <p>③ 教員免許がない職員には、児童生徒の母語となる言語の指導ができるることを求めています。</p>	

事業名		事業概要
A L T配置事業		
事業コード	I -1-(3)-①	
担当	教育支援課	
総合評価	A	

事業名	事業概要
授業研究会の実施	
事業コード I -2-(1)-①	道徳教育推進教師を中心とした指導体制の充実を図り、家庭・地域との連携を深め、道徳教育を推進していく。児童生徒一人ひとりの考えを大切にし、価値の理解を深めるための工夫した授業を目指す。
担当 教育支援課	
総合評価 A	
質問・意見・提案	担当課回答
研究校の独自色よりも、どの学校にも有りがちな課題に対するより有効な指導方法の研究に期待したい。	市の学力向上における課題への取り組みとして、児童生徒が主体的に学習に取り組める「ケアのあるグループ活動」を市内全校で推進しています。その取り組みを各校の児童生徒の実態に合わせて研究を行っているため、内容については独自色が出ていますが、全校同じ方向性で授業改革を進めてまいります。

事業名	事業概要
いじめ対策調査会事業	
事業コード I -2-(3)-①	教育委員会が取り組んでいるいじめ防止等のための対策を実効的に行うため、専門的な知識及び経験を持つ第三者等の参加を図り、公平性・中立性が確保されるよういじめ対策調査会を設置し適切に運営していく。
担当 教育支援課	
総合評価 A	
質問・意見・提案	担当課回答
万が一、重大事態が発生した場合に備え、情報収集と早期発見、早期対応を心がけていただきたい。	未然防止対策と併せて心がけていきたいと思います。

事業名	事業概要
意欲を高める体育活動の創造プロジェクト	
事業コード I -3-(1)-①	ICT の活用など、児童生徒が自分の運動課題を見つけたり自分の技能を客観的に分析したりすることを通し、体力や技能の向上を図ることで運動意欲を高める。
担当 学校政策課	
総合評価 A	
質問・意見・提案	担当課回答
<p>① ICT の活用による児童生徒自ら端末に打ち込むことで活動の効率化は図れると思いますが、結果的に県平均より低いこと、二極化が見られることがあります。ICT 化により能力が低いとされた子が向上を目指す刺激になっていますか。</p> <p>② 学校支援アドバイザーの指導で能力の向上は起こっていますか。起こっていれば、県の平均など気にしなくてもいいと思います。</p>	<p>① 令和 7 年度から児童生徒が学習用端末に自分の結果を入力しており、過去の自分の結果と今の自分の状況を可視化できることから、次年度の前向きな目標設定につながる考えています。</p> <p>② 体育主任もそれぞれの学校の課題と向き合い、学校支援アドバイザーに相談することで児童生徒の能力を向上させています。</p> <p>今後は、子どもたちの満足度も大切な指標にしていきたいと考えています。</p>
今後の方針の改善内容等の欄に昨年も同様の記載があり、実施時期に令和 6 年 5 月とあった。システム導入できなかつた経緯は。	令和 6 年度は市内小学校 1 校のみ新システムのトライアル導入を行い、令和 7 年度から全校で導入開始となりました。

<p>人生を有意義に過ごすために必要なものはたくさんあるが、最近のある調査では「健康」という選択肢が一番多かったそうだ。</p> <p>体力の向上は健康に直結しているので、このプロジェクトは大変有意義であると考える。この取り組みを学校内に留めず、家庭や地域を巻き込み、三者が一体となった取り組みにすることで、より効果的な体力向上が期待できるのではないか。コミュニティ・スクール事業と関連付けることも可能である。</p> <p>山口県などの先進事例も参考にしながら「健康都市しろい」の実現に向けて研究の余地があると思う。</p>	<p>校内の情報発信だけでなく、家庭・地域と共に「健康・体力の向上」を目指して取り組んでいる自治体の取り組みを参考にしていきます。</p>
<p>体力テストの入力が令和6年度もタブレットからはできなかつたようなので、その点が改善されると良いです。</p>	<p>令和7年度から、タブレットの活用を進めています。</p>
<p>運動能力は個人によって差があり、数値を比較して白井市は劣っているという事よりは、各個人が向上したと満足できることが大切なので、機器やアドバイザーの導入効果を、個人の満足度においてほしい。</p>	<p>検討してまいります。</p>

事業名		事業概要
保健・安全教育の充実と管理の徹底		
事業コード	I -3-(2)-①	児童生徒及び教職員の健康の保持増進と疾病予防のため、健康診断の実施と健康に対する啓発事業を実施する。児童生徒が安全な学校生活を送るため、安全点検の実施や学校環境の安全の確保を行う。
担当	教育支援課	
総合評価	A	
質問・意見・提案		担当課回答
命の大切さについて、義務教育の段階でしっかり学ばせてほしい。		市学校保健会「保健教育推進事業」の一環で、各校で講師を招いての性教育や命の大切さについて学ぶ機会を設けています。非常に有効な機会であるため、継続してまいります。

事業名		事業概要
小中学生の栄養指導事業		
事業コード	I -3-(3)-①	栄養士や栄養教諭が学校を訪問し、学校給食を通じて児童生徒の発達の段階に則した食育指導を行い、児童生徒が食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けられるようにする。
担当	教育支援課	
総合評価	A	
質問・意見・提案		担当課回答
地産地消の取り組みは、大いに進めてほしい。白井市の農業の維持・発展にもつながります。		ご意見として承ります。

事業名		事業概要
特別支援教育事業		
事業コード	I -4-(1)-①	特別支援教育における就学相談及び個別支援の充実を図るため、ライフサポートファイルの活用や教育支援委員会の開催、個別支援学級への必要な介助員の配置、専門性の高い巡回指導による指導・助言等を行う。
担当	教育支援課	
総合評価	A	
質問・意見・提案		担当課回答
就学前健康診断のあり方について、社会状況の変化に対応した内容の見直し等はどこからも声があがっていないのでしょうか。		<p>令和6年度までは、発達検査用紙を用いて検査を行っており、その用紙で扱っている物が時代にそぐわなく、幼児の理解が難しいと考えられる物も含まれていました。</p> <p>そこで令和7年度より、発達検査の方法を面接法に見直し、扱う物についても幼児が理解しやすいものとなっております。</p> <p>また、面接法により、検査者との言葉のやり取りの中で年齢相応の基準に達しているかどうか判断することができ、緊張感を軽減しながら、普段のお子さんの状態から大きく離れることなく検査を行うことができています。</p>
<p>広い教室で、テストなるものを受け、緊張したり、別室で再検査し、更に不安を与えるより、幼稚園、保育園の先生方に確認する方が的確と感じます。</p> <p>ゲーム感覚で数や文字の理解度を見たり、遊びを通してルールが理解できているか、みんなと同じことができるのか、話を聞いていられるか。</p> <p>5才児、6才児が緊張せず、安心して入学できることを願っています。</p>		学校教育に対する意見として承ります。
若手・中堅職員には、ベテランになる前に「個別支援学級担任」を経験するチャンスを与えてほしい。特に若手は必須としても良いのではないか。		意見について参考とさせていただきます。

事業名		事業概要
地域人材活用事業		
事業コード	I -5-(1)-①	
担当	教育支援課	社会に開かれた教育課程の実現に向け、学校教育を通じてより良い社会を創るという目標を社会と共有するとともに、児童生徒が必要な資質・能力を身につけられるよう、地域の人的・物的資源の効果的な活用を図る。
総合評価	A	
質問・意見・提案		担当課回答
コミュニティ・スクールの導入もあり、地域人事の活用がさらに進んで行くと思いますが、人材の発見と登用において、教育委員会や学校はどこから情報を得ていますか。		新しく人材を発見・登用する場合は、コミュニティ・スクールの協議会の他に、市民まちづくりサポートセンターや町内の掲示板・回覧板等でお知らせする、また市役所内の人材や市で進めている官民連携の企業から確保することも考えています。更に白井市公式LINEを活用することも考えています。
積極的な活用の推進よりも、効果的な活用の推進を図るべきである。 部活動の地域展開に関わる人材の確保を早めに進めてほしい。中学校での入学説明会が1月にあり、保護者から質問が出ると思いますので、「まだ決まっていません」「分かりません」等の回答で保護者を不安に思わせないことが大切だと思います。		ご意見について、参考とさせていただきます。

事業名		事業概要
教育支援センター事業 (旧:適応指導教室事業)		何らかの理由で学校に不適応を起こしている児童生徒に対し、グループ活動や学習活動を通して、心理面、学習面、生活面の相談・支援を行い、学校への復帰及び社会的自立を促す。
事業コード	I -5-(2)-①	
担当	教育支援課	
総合評価	A	
質問・意見・提案		担当課回答
学校は、不登校・教育支援センターにも通室できていない児童生徒のデータはあるか。具体的には、引きこもりや民間のフリースクール等に通う児童生徒がいるのかどうかを教えていただきたい。		市教育委員会も、学校も不登校や教育支援センターにも通室出来ていない児童生徒のデータは持っています。 引きこもりの児童生徒数は把握していませんが、90日以上の欠席児童生徒数(令和6年度)は、小学校25人、中学校86人です。 令和6年度、フリースクールへ通っていた児童生徒数は13人です。
引きこもり傾向については、なるべく早い段階(年齢)での解決を今後も目指していただきたい。		今後も学校と教育支援センターを始めとする関係機関と連携しながら早い段階での解決を目指します。
現在の場所が小中学生には通いづらい場所であると思いますので、場所を移転するか、なっしー号で通いやすくなるように時刻表を組んだりできるとよいと思います。		今後の事業の参考とさせていただきます。

事業名		事業概要
教育相談事業		学校生活や家庭生活での不安や悩みに対応し、より良い人間関係づくりや充実した生活が送れるようきめ細かな支援をするため、児童生徒及び保護者や教員を対象に面接・電話・訪問による教育相談を行う。
事業コード 担当 総合評価		I -5-(3)-① 教育支援課 B
質問・意見・提案		担当課回答
令和6年度の相談件数が229件となっている。相談内容の内訳や相談結果についての分析が行われていると思うが、可能な範囲で教えていただきたい。		相談件数229件の内訳 不登校187件、いじめ以外の友人関係18件、家庭問題9件、学習・進路8件、教職員との関係6件、いじめ1件。 相談結果については、県のスクールソーシャルワーカー等を講師として招き、定期的に対応の検討を行っています。
① 相談内容の8割が不登校とありますか。 ② 相談に来てよい方向に向くという効果が表れていますか。 ③ 学校に戻れない場合、学校以外に行ける場所がありますか。学校と同程度の教育が出来る援助組織がありますか。 ④ 無い場合に、長期間の不登校が卒業時にまで及んだ場合、学校はどういう対処をしていますか。		① 令和6年度の90日以上の欠席児童生徒は、小学校25人、中学校86人です。 ② 国としては「学校に登校することのみを目標とせず、社会的自立を目指すこと」としており、本市も同様の考え方もと児童生徒へ支援しております。相談後に少しづつ学校へ通えるようになる児童生徒、市教育支援センターとつながりヤングハートしろいへ通う児童生徒、様々なケースがあり、効果はあると捉えております。 ③ 学校以外に行ける場所としては、市教育支援センター、民間のフリースクールが挙げられます。 ④ 千葉県の事業で、不登校児童生徒を対象としたオンライン授業配信が令和6年度から始まっており、市内の児童生徒も利用しています。
今後も、子どもたちのための教育相談に総力をあげて取り組んでいただきたい。		引き続き取り組んでまいります。
不登校の対応は、学校に戻す事から、その子にあった将来を保証する事に移り始めていると思うので、学校外での教育が保証されるように教育援助団体や通信教育との連携が充実するように働きかけてほしい。		フリースクールを始めとする各関係機関との連携を進めていきたいと考えます。

事業名		事業概要
青少年国際交流事業		
事業コード 担当 総合評価	I -5-(4)-① 教育支援課 B	中学生を中心にオーストラリアとの国際交流を実施することで、国際理解を深めるとともに、国際的視野を広め、多様性を尊重し、グローバル社会で活躍できる人材の育成を推進する。
質問・意見・提案		担当課回答
直ぐ対処できる問題ではないことは分かりますが、青少年たちにとって国際交流の視点を持つことは大切なことなので、復活に向けて迅速に動き出すことを期待している。 小学校からの英語教育も始まって、青少年の海外との交流事業は必須であり、委託可能な団体が見つかれば、早急に新たな交流計画を企画してもらい、そのバックアップ体制もしっかり持っていくべきである。		ご意見として承ります。

<p>実施できた方がいい事業ではあるが、教育委員会が主導する時代ではなくなつたと考える。</p> <p>相手側の問題から現状になっている事の仕方なさは分かるが、検討の過程で白井国際交流協会との連携を図るなど具体的に動くべきかと思う。</p> <p>オーストラリアとの交流中断は仕方ないとして、この事業の教育効果があるとしたら、他の国を考えたりするようなことは考えないのでしょうか。</p> <p>教育委員会で動く余裕が無いとしたら、白井国際交流協会あるいは、民間交流団体に委託という方向が出ていたと思うのですが、昨年から今年にかけて実際に何か動いた事はあったのでしょうか。</p> <p>継続を位置付けてあるだけでしょうか。</p>	<p>オーストラリアとの交流は、令和9年度に向けて協議をしていきます。</p> <p>委託をする、しないについても検討中です。</p> <p>国際交流の在り方についても検討する必要があると考えています。</p>
--	---

事業名	事業概要
教育の情報化推進事業	
事業コード I -6-(1)-①	高速通信ネットワークの整備や児童生徒に一人1台タブレットの実現を目指すGIGAスクール構想実現のため、ICT環境を整備する。また、双方向でのオンライン授業やWeb会議システムについての環境も整備する。
担当 学校政策課	
総合評価 A	
質問・意見・提案	担当課回答
白井市においては、これまでに「学習用端末の不適切利用」は起きていないということでしょうか。	児童生徒が授業や家庭学習とは関係のない不適切な使用をしないように情報モラル教育などの事前指導に努めています。また、不適切利用があった場合には、規範意識に対する指導を行い、再発防止につなげています。

事業名	事業概要
授業でのICT活用プロジェクト	
事業コード I -6-(1)-②	整備されたタブレットや授業支援ソフト、電子黒板の機能を有した大型提示装置等の利活用のため、ICT支援員を中心とした研修会の実施や先進校の授業実践視察等を行う。
担当 学校政策課	
総合評価 A	
質問・意見・提案	担当課回答
評価シート3コスト タブレットの買い替えの時期だと思うが、それは何年度になるのか。 買い替えとなった場合、3コストに反映されるのか。	現在の学習用端末は令和8年度まで使用、令和9年度から次期学習用端末を使用予定です。ICT支援員は今後も配置予定なので、コストには反映されます。
教育現場でのICT活用は必須の時代となった。教員によって得手・不得手があると思うが、それなりの活用ができるよう支援をお願いしたい。	引き続き支援してまいります。

事業名		事業概要
校務支援システムの有効活用		
事業コード	I -6-(2)-①	校内の文書や児童生徒に関する情報等をデジタルデータ化することで職員間相互に情報を共有、再利用できる。また、教育委員会や各校が相互にネットワークで結ばれ、情報のやりとりができる、業務負担の軽減につながる。
担当	学校政策課	
総合評価	B	
質問・意見・提案		担当課回答
省力化が可能なものは、徹底的に具現化する。そのためのサポートをしっかりとお願いしたい。		引き続き支援してまいります。
インターネット環境を整備して、システムがいつもスムーズに動作する状態になってほしいです。		アセスメント等により改善を図ってまいります。

事業名		事業概要
教職員の働き方改革の推進		
事業コード	I -8-(2)-①	「業務改善の推進」「部活動の負担軽減」「勤務時間に関する意識改革と時間外勤務の抑制」「学校を支援する人材の確保」等の方針のもと、具体的な方策を講じ、働き方改革を推進していく。
担当	学校政策課	
総合評価	B	
質問・意見・提案		担当課回答
正規教職員不足の状況が続く中、現場にとって学校補助教員の存在は非常に大きい、予算確保の継続を。		ご意見として承ります。
定時に帰る職員と、毎日遅くまで帰れない職員の差を無くすよう校務分業等、チームで取り組める努力をしなくてはならないと思う。単学級の学校では難しいと思いますが「チーム担任制」は考えていないのか。		調和のとれた学校運営が行われるためにふさわしい校務分掌の仕組みについて、引き続き検討してまいります。

事業名		事業概要
コミュニティ・スクールの調査・研究、導入		
事業コード	I -9-(1)-①	各学校が地域の実情や特性を活かし、創意工夫を凝らした特色ある教育を開拓するとともに、コミュニティ・スクールの取り組みを調査・研究することで、地域とともに学校づくりを推進する。
担当	学校政策課	
総合評価	B	
質問・意見・提案		担当課回答
地域との連携が進めば進むほど、教職員の休日出勤の対応が課題になると予想している。対応が難しい課題だと思うが、学校任せにせず、教育委員会としての見解を準備しておいた方が良いと考える。		学校と協力して進めてまいります。

	<p>① 令和7年度コミュニティ・スクール導入の進捗状況を教えていただきたい。</p> <p>② 現時点において、把握している課題等があれば、その対応を含め、教えていただきたい。</p> <p>① 令和7年度の学校運営協議会委員については、令和6年度中に各学校長が推薦し、令和7年3月、4月の教育委員会において、各校8人から11人の委員が承認されました。</p> <p>第1回目の学校運営協議会が各校5、6月に開催され、校長の学校経営方針の説明とその承認、年間計画や組織編成等協議をし、具体的な取り組みへと進んでいます。</p> <p>② コミュニティ・スクールのねらいが保護者、地域に浸透するには時間がかかること、そのため、目標の共有を根気強く図っていく必要があること、地域住民への情報発信の難しさという声があがっています。</p> <p>今後は各学校の保護者が閲覧できる市のLINEでの情報発信や、広報紙、地域情報ソースも効果的に活用するなども考えております。</p>
<p>① 令和7年度から全ての学校がコミュニティ・スクールになっているということですが、まちづくり協議会が出来ている地区と、出来ていない地区とでは、活動方針に違いがありますか。</p> <p>② 以前にあった学校評議員との違いが出るように学校長に指導していることがありますか。</p>	<p>① 学校運営協議会では、地域の資源を活用し、地域住民との交流を深めることを考え、まちづくり協議会が出来ている地区と、出来ていない地区であっても、活動方針に違いはありません。</p> <p>② コミュニティ・スクールを先行実施した2校の取り組みを紹介し、学校評議員よりも構成員が増え、より地域の資源を生かし、地域との連携を図っていくよう説明しております。</p>
<p>時代の流れが早く、せっかく地域とのつながりを深めるこの事業がスタートした時には、働き方改革が急速に進み、多様化する生徒に対処する事だけで精いっぱいの職員が地域の事にまで関心を持つ余裕が無くなってしまっており、この事業が形骸化する恐れもあると思う。先の見通しを考えた視点を持ってこの事業を推進してほしい。</p> <p>働き方改革の推進により管理職だけが時間外に地域の活動に加わっているという現実がある。この事業がやらねばならないから何とかやるという形骸化しないよう、目的通りの地域と連携して運営される事業になるように工夫していくべきだと思う。</p>	<p>学校と地域にとっての最適解を探していきます。</p>
<p>スタート時の管理職が交代した時が第二段階と考える。スムーズな運営を継続できるかどうか、しっかりサポートをお願いしたい。</p>	<p>引き続きサポートしてまいります。</p>

事業名	事業概要
小中一貫教育・義務教育学校の調査・研究	中学校区ごとの授業参観等の研修会や、小学校6年生の体験入学等の実施、生徒指導担当者による情報交換等、9年間で児童生徒を育てるとともに、義務教育学校及び小中一貫教育の調査・研究を行う。
事業コード I-9-(2)-①	
担当 学校政策課	
総合評価 A	
質問・意見・提案	担当課回答

中学校区毎に話し合い、何か一つのテーマを決めて、小中学校9年間かけて継続実践してみる。既に実践しているかもしないが、例えば10分程度の読書タイム、ストレッチタイムなど小学校1年生でもそれなりに取り組めるものなら何でもいい。継続は力なり、具体的な実践を続けていくことが一番の連携になるのではないか。	学習指導や生徒指導における継続的な取り組みについて、引き続き充実を図ってまいります。
--	--

事業名	事業概要
小中学校教育環境向上事業	児童生徒や教職員が、より安全で快適に学校生活が送れるよう教育環境の向上を図るため、特別教室のエアコンや老朽化した児童生徒用の机・いすの整備について検討を行う。
事業コード 担当 総合評価	I-10-(1)-① 教育総務課 A
質問・意見・提案	担当課回答
<p>① プールについて、現在市民プールを使用している学校があつたり、中学校では水泳指導を行っていないなど、バスの貸り入れ費とプールの維持管理費はどのような違いがありますか。</p> <p>② 学校で使用している管理用備品が故障した場合、市の予算で修理あるいは購入することはできるのでしょうか。</p>	<p>① 小中学校教育環境向上事業では、学校施設の修繕・改修・維持管理・備品整備等を行っており、プール施設では、施設の老朽化や機器の取り扱いの難しさなど課題となっています。</p> <p>市では小学校で水泳指導を継続して行っているため、課題解決の一つとして市民プールの活用も始めています。移行にあたっては、学校プールの改修工事及び維持管理料と市民のプールの指導員委託料、送迎バス料を中長期的に比較し判断していますが、市民プールには収容能力に限りがあり、全ての学校で採用することは困難な状況となっています。そのため、老朽度合い、立地・規模などから、学校毎に課題解決について検討していくこととしており、今後は児童数も減少していくことを考慮しながら進めてまいります。</p> <p>【水泳指導について】</p> <p>●小学生</p> <p>水難事故を未然に防ぐ基本的な安全知識を習得し、水遊びを通じた運動基礎を身に付けるためプールでの実技を開設しております。</p> <p>●中学生</p> <p>小学校で身に付けた基本技術があることを前提に、机上において水難救護等の学習を行っております。</p> <p>【バス費用・維持管理費について】</p> <p>バス借り上げ費用及びプール維持管理費は、いずれも教育費予算です。</p> <p>バス借り上げ費は経常経費で、年度ごとの変動幅は小さいですが、プール維持管理費は高額な改修費もあり、年度ごとの変動幅が大きくなる傾向があるため、比較検討には中長期的な視点で捉える必要があります。</p> <p>② 管理用備品については毎年学校へ当初予算要求の照会をしており、修繕費あるいは、備品購入費を計上しているところです。</p> <p>なお、教材用備品についても同様の考え方となります。</p>

事業名		事業概要
小中学校施設改修等事業		
事業コード	I -10-(1)-②	
担当	教育総務課	
総合評価	A	安全安心を最優先に、社会状況の変化に対応した学校施設に求められる機能を確保するため、「白井市学校施設の長寿命化計画」に基づき、校舎等の大規模改修及び長寿命化改修を行う。

事業名		事業概要
学校安全対策事業		
事業コード	I -10-(1)-③	
担当	教育支援課	
総合評価	A	教育委員会や学校のほか、PTA、警察など関係各所と連携し、通学路の合同点検を実施する。登下校時の見守り活動により交通事故や不審者による被害を防ぎ、児童生徒の安全を確保する。

●基本方針Ⅱ 支えます。子どもの笑顔【家庭教育】

学ぶ機会を提供し、地域で家庭教育を支える仕組み作り、すべての学びの基盤となる家庭教育を支えます。

事業名		事業概要
家庭教育のサポーター育成		
事業コード	II -1-(1)-①	
担当	生涯学習課	
総合評価	B	子どもや保護者が安心して生活することができるよう、保護者や子育て支援関係者に対して、子育てに関する情報提供や集まる場の提供を行う。

事業名		事業概要
家庭教育事業		
事業コード	II -2-(1)-①	
担当	生涯学習課	
総合評価	B	保護者の子育てに対する関心の高いものを把握し、若い世代も含め、講座や講演会の実施、家庭教育に関する情報を提供する。

●基本方針Ⅲ 結びます。人と地域と学び【社会教育】

市民だれもが身近で気軽に立ち寄ることができる地域の拠点を活かして、人と地域と学びの場を結びます。

事業名		事業概要
公民館活動の充実		公民館を管理運営する指定管理者に対して、市の施策を踏まえた学習機会の提供を行うように、情報提供や助言を行うとともに、民間の活力を生かし地域課題解決を目指した講座や事業などの運営ができるように支援する。
事業コード	Ⅲ-1-(1)-①	
担当	生涯学習課	
総合評価	B	
質問・意見・提案		担当課回答
<p>① まちづくりを促進するために一時直営に戻した白井第二小学校区の公民センターも、令和7年度から指定管理者の運営に戻り、指定管理者がそれぞれ特徴を出すために努力していると思っています。毎年各センターから上がってくる報告の中で、これは白井市として誇れる特徴ある活動だと評価されるものがありますか。</p> <p>② 各センターの特徴ある活動を、機会あるごとに取り上げて広報活動に努めていらっしゃるとおもいますが、現在の広報活動として、白井市のホームページ、広報しろいの他にどんなものがありますか。</p>		<p>① 生涯学習課が所管している西白井複合センター、白井駅前センター、桜台センター学習等供用施設（富士センター）の各センターで特色ある活動をされておりますが、特に桜台センターの「地域イズム」は、各サークルの発表の場であるセンターフェスティバルと違い、桜台小学校 PTA の皆さんによる絵本の読み聞かせや、地域の方のハンドメイド品の販売（子ども達のお小遣いで購入できる金額）、児童書の譲渡会等が行われ、地域交流ができる楽しい活動であると評価しています。</p> <p>② 広報活動につきましては地域情報サイト「しろいまっち」に取材していただいている。</p>

事業名		事業概要
社会教育環境の整備		市民が気軽に地域交流の場に参加できる機会を提供できるよう、社会教育関係団体やサークル、自治会、指定管理者、行政などが連携し環境を整える。
事業コード	Ⅲ-2-(1)-①	
担当	生涯学習課	
総合評価	A	
質問・意見・提案		担当課回答
<p>各種団体のリーダーの世代交代がうまくいくかどうかが大きなポイントになると思う。団体次第ではあるが、行政側からの啓発も大切ではないか。</p>		<p>多くの団体が後継者不足を課題とし、団体の活動を担う人材の確保や育成も多くの団体が抱える課題であり、団体の理念や活動のノウハウを次世代に円滑に引き継ぐ仕組みを構築するためには若手や多様な世代が関わりやすい活動内容や運営体制に見直す必要があることから、ご意見を参考とさせていただきます。</p> <p>公民館とは地域住民の学習・交流・文化活動を推進するための社会教育施設であり、講座の実施やサークル活動の支援を通じ、住民の学びと地域コミュニティづくりを担う拠点として位置付けられています。</p> <p>市や公民館では、各種団体からの相談には応じていますが、世代交代等について市から何か仕掛けることは考えておりません。</p> <p>また、現在、コロナ禍以降、高齢化を理由に解散するサークルや団体が増加している状況を受け、各公民館では講座を通して新たなサークル形成につながる取り組みをしています。まずは団体活動に興味をもっていただくことが大切だと考えております。</p> <p>月1回開催するセンター長会議や担当者会議において、各公民館活動の情報共有を行い、効果のあるものについては積極的に取り入れていくなどしております。</p> <p>引き続き、地域ニーズを捉えながら、公民館活動を支援してまいります。</p>

●基本方針IV 応援します。みんなの学び【生涯学習】

市民だれもが生涯を通して、スポーツ、文化、芸術、郷土の歴史等、自己を高める学習活動を応援します。

事業名	事業概要
放課後子ども教室事業	
事業コード IV-1-(1)-①	
担当 生涯学習課	
総合評価 B	全ての児童が、放課後を安心・安全に過ごすことができるよう、放課後子ども教室を開設する。また、放課後児童クラブ（学童保育）との一体化の運営についても検討を行っていく。

事業名	事業概要
白井市民大学校事業	
事業コード IV-2-(1)-①	
担当 生涯学習課	地域の魅力発見や健康など、それぞれの学部のテーマに沿った学習の場を提供し、市民の主体的な「学び」と市民の「参加」によるまちづくりを総合的に支援する。
総合評価 B	
質問・意見・提案	担当課回答
市民（受講希望者）のニーズはあるようなので、事業自体は継続すべきである。継続に際し、受講者数は1桁にならなければ良しとするくらいのゆとりをもってもよいのではないか。 また、企画にあたっては、受講者アンケートを最も重視すべきであると考える。	各講座で受講者から感想や意見をいただいております。 来年度は講座内容を精査する年として実施せず、令和9年度以降、評価が高かった講座を中心に講座運営を続けていきたいと考えております。

事業名	事業概要
立春式事業	
事業コード IV-2-(1)-②	
担当 生涯学習課	多様化する生徒の個性、能力、適性等に配慮し、社会への仲間入りを自覚させるきっかけとして、市内に在学する中学2年生を対象に立春式事業を実施し、その事業に対して支援する。
総合評価 ※令和3年度終了	

事業名	事業概要
図書館サービス推進事業	
事業コード IV-2-(2)-①	
担当 文化センター	市民の生涯学習を支援するため、知識と情報を提供し、利用者層・利用目的に対応したサービスを行う。
総合評価 A	
質問・意見・提案	担当課回答
シニア世代の中には、機器の操作すら一苦労という人もまだまだ多いと思うが、自立に向けた支援を心がけていただきたい。	シニア世代のニーズに沿ったサービスの充実を図ってまいります。

事業名	事業概要
図書館資料整備事業	
事業コード IV-2-(2)-②	
担当 文化センター	市民の読書要求に応じるため、図書・雑誌・新聞などの資料の充実と社会情勢にあつた蔵書構成を目指す。データベースなど最新の情報ツールを提供するとともに、電子書籍の導入を検討する。
総合評価 A	

事業名		事業概要
プラネタリウム館運営事業		
事業コード	IV-2-(3)-①	
担当	文化センター	
総合評価	A	星空を通して豊かな心を育むために、ライフステージや客層に応じた事業を企画し、白井のオリジナリティある番組制作や投映を行う。また、宇宙に親しむため、観望会や各種講座をボランティアと協働で開催する。
質問・意見・提案		担当課回答
評価シート6 今後の方向性の改善内容等で千葉県市町村職員共済組合の登録を進めているとありますが、進んでいるのでしょうか。		令和7年6月19日付けで申請を行い、令和7年8月末現在、千葉県市町村職員共済組合の回答待ちとなっております。 令和7年4月から5組の家族連れの方々から遊園施設入園券を利用した無料での投映希望を窓口にてお問合せもございますので、許可が出た際には、遊園施設入園券を利用した無料での入館者増が期待できるものと考えております。

事業名		事業概要
総合型地域スポーツクラブ支援事業		
事業コード	IV-3-(1)-①	
担当	生涯学習課	
総合評価	A	いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことのできる生涯スポーツの推進を図るため、総合型地域スポーツクラブの活動場所の確保や周知及び地域スポーツ指導者の核となる人材育成の支援を行う。

事業名		事業概要
各種スポーツ大会開催事業		
事業コード	IV-3-(1)-②	
担当	生涯学習課	
総合評価	A	スポーツの普及振興、運動習慣の定着を図りスポーツの楽しさを実感できるようイベント等を実施するほか、各種大会を開催し競技力の向上を図る。また、スポーツ団体の活性化を図るために支援を行う。
質問・意見・提案		担当課回答
計画中の主な取り組みのところで、白井梨マラソン大会の参加人数とコースの追加などはありますか。		現在の開催地では、コースとなっている道路の幅員が狭く、参加人数をこれ以上増やすことはできないため、新たにコースを追加することは考えておりません。
参加人数を増やすことで市の增收が見込める。コースを追加することで白井市と白井市の梨をアピールできる。(仮装マラソンコースを追加、記念大会コースを設定等)		白井梨マラソン大会は、白井梨マラソン大会実行委員会が主催しており、市からは250万円の補助金を交付しておりますが、参加人数が増えた場合は、実行委員会の収入が増えることとなります。

事業名		事業概要
文化を支える人材育成支援事業		
事業コード	IV-4-(1)-①	
担当	生涯学習課	
総合評価	A	市民の自主的な文化芸術活動の創造による地域文化振興を図るために、市内を活動拠点とする包括的な文化芸術活動を行う団体の活動を支援する。
質問・意見・提案		担当課回答
行政として可能な支援を今後も継続していくという方針を支持します。		より良い支援を模索しながら引き続き支援してまいります。

事業名		事業概要
市民文化祭開催事業		市の文化芸術活動を振興するため、市民文化祭を開催しその運営を行う団体を支援する。
事業コード	IV-4-(1)-②	
担当	生涯学習課	
総合評価	A	
質問・意見・提案		担当課回答
作品を出品した児童生徒も参加人数に入っていますか。		児童生徒も参加人数に入っています。

事業名		事業概要
文化会館管理運営事業		文化会館の緞帳、反響板、せり等の舞台設備、マイク、スピーカ、ミキサー等の音響設備及び舞台を照らすライト等の照明設備、舞台備品、ピアノ等の楽器の維持管理やホールの貸出業務を行う。
事業コード	IV-4-(2)-①	
担当	文化センター	
総合評価	A	
質問・意見・提案		担当課回答
今後も市民の生涯学習を支援する場としての機能を発揮していただきたい。		文化会館の特性を生かし、今後も市民の生涯学習を支援する場としての機能を発揮できるよう、努めてまいります。

事業名		事業概要
文化会館自主事業運営事業		文化会館の自主事業として、演劇、演歌、ポピュラーミュージック、クラッシックコンサートや古典芸能など、市民に優れた芸術文化を提供するため、各種公演等を開催する。
事業コード	IV-4-(2)-②	
担当	文化センター	
総合評価	B	
質問・意見・提案		担当課回答
市内には映画館がありません。映画上映も選択肢の一つとして良いのではないか。		自主事業で映画を上映するには、上映する映画の著作権者に許諾を得る必要があります。著作権保護期間中の映画を営利目的で上映する場合は、権利者から許諾を得た業務用ソフトを使用することになります。従いまして、集客が望めるような最近上映された映画の上映については、自主事業の計画を立てる際に費用対効果を踏まえて検討してまいります。

事業名		事業概要
文化財保護・周知事業		市内の国・県・市指定文化財の良好な状態で保存と活用を図り、市民が文化財に親しむ機会を広げ、市の歴史理解と文化の向上に寄与する。
事業コード	IV-5-(1)-①	
担当	生涯学習課	
総合評価	A	

事業名		事業概要
文化財調査事業		
事業コード	IV-5-(1)-②	
担当	生涯学習課	
総合評価	B	市内に所在する各種文化財を分野ごとに調査を実施し、報告書にまとめて文化財保護・周知のための基礎資料を整備するとともに、調査成果をもとに各種普及書を作成し、その成果を市民に還元する。
質問・意見・提案		担当課回答
<p>① 一人暮らしが増え、空き家が増えるのと並行して、その家の貴重な文献が消えていく可能性が大きくなっています。現在あの家には貴重な文化財遺品があると分かりながら手が付けられない件数はどのくらいありますか。</p> <p>② 調査する人材や経費との関係で調査が遅れてしまっているのではないかと心配ですが、現実はどうですか。</p>		<p>① 所有者の同意が得られず未調査のもの2件、所在情報があるが調査まで至っていないものが1件あります。古文書類は所有の状況が分からぬものが多いです。</p> <p>② 近年募集を掛けておりますが、調査を担当する学芸員が市の望むとおりに確保できており、調査の進捗に影響しております。</p>
<p>職員が熱心に取り組もうとしても、スタッフや時間、予算が不足しており、十分調査出来てない状況は、失われゆく貴重な文化財保護活動の重要さが理解されないからだと思う。時代の流れでもっと優先すべき事業があるのは分かるが、市として良い案を考えてほしい。名家でも一人暮らし、そして空き家になり、文化財が失われていくのは残念。</p>		現在の流れでは文化財は観光での活用ばかりが注目されています。市内には観光に向いた文化財は無いですが、観光以外での活用を検討し、文化財保護に繋げられればと思います。

事業名		事業概要
埋蔵文化財・文化財記録・保護事業		
事業コード	IV-5-(1)-③	
担当	生涯学習課	
総合評価	A	埋蔵文化財の発掘調査や、文化財の測量調査を実施することで、各種情報を記録化し、保護対策を講じていく。

事業名		事業概要
市史編さん事業		
事業コード	IV-5-(1)-④	
担当	生涯学習課	
総合評価	B	将来的な市史編さん事業に備えて、歴史公文書を収集するほか、市史編さん事業に関係する各種情報の収集を行う。
質問・意見・提案		担当課回答
<p>スタッフと予算が確保できないから遅れるのは分かるが、市史としてまとめた冊子が無いのは残念で、何とか早める方法を模索してほしい。</p>		専門職員の確保に向けて引き続き要望していきたいと思います。
事業名		事業概要
郷土資料館展示・教育普及事業		
事業コード	IV-5-(2)-①	
担当	文化センター	
総合評価	A	資料館の利用者に対しアンケートによる調査を実施し、利用者の意見を反映させた展示・普及事業を行う。また、市の歴史や文化財に関する情報を発信することにより、市民が市や地域へ興味・関心を持てるようにする。

事業名		事業概要
市民学芸スタッフ古文書修補活動事業		
事業コード	IV-5-(2)-②	
担当	文化センター	
総合評価	A	市の文化財の一つである古文書を、良好な状態で後世まで守り伝えるため、古文書の修補作業を市民と協働で実施するとともに、修補技能者（市民学芸スタッフ）の育成と修補技能の継承を行う。

教育委員会の活動状況（令和6年度）

教育委員会では、教育委員会定例会及び臨時会、学校訪問や研修・視察等において、各委員がそれぞれの専門性や識見を発揮しながら、教育行政の推進のために活動しています。

教育委員会会議については、定例会を毎月1回開催し、必要に応じて臨時会を開催しています。令和6年度は、定例会12回、臨時会5回の計17回開催しました。

また、市長と教育委員会とが教育の課題や重点施策について協議を行う「総合教育会議」は市長の招集により8月及び12月に開催し、「平和事業・教育について」「白井市第3次教育大綱（素案）について」について意見交換を行い、議論することで共通認識を図り、今後の展開につなげることができました。

その他、令和7年度から全小中学校へコミュニティ・スクール導入に向けた説明会へ参加したり、学校訪問や学校のスクールサミットの発表会、学校行事、千葉県市町村教育委員会連絡協議会等の各種研修会へ参加し、識見を高め教育施策等の反映に努めています。

月	教育委員会議	総合教育会議	教育に関する事務事業評価	学校訪問等	研修・視察等
令和6年4月	1回				<ul style="list-style-type: none"> 印旛地区教育委員会連絡協議会 定期総会 千葉県都市教育長協議会 定期総会・研修会 千葉県都市教育長協議会第1回役員会（書面開催） 関東地区都市教育長協議会 総会・分科会
5月	2回			所長訪問2校	<ul style="list-style-type: none"> 第1回教科用図書印旛採択地区協議会 関東甲信越静市町村教育委員会連合会総会及び研修会（茨城大会） 全国都市教育長協議会定期総会研究大会長崎大会 千葉県市町村教育委員会連絡協議会 定期総会
6月	1回			所長訪問1校 次長訪問2校 指導室訪問1校	<ul style="list-style-type: none"> 市町村教育委員会研究協議会（前期・オンライン） 千葉県都市教育長協議会第2回役員会・全体会・分科会
7月	2回			次長訪問2校	<ul style="list-style-type: none"> 第2回教科用図書印旛採択地区協議会
8月	1回	1回			
9月	2回		1回	指導室訪問1校	
10月	2回				
11月	1回				
12月	1回	1回			<ul style="list-style-type: none"> 千葉県市町村教育委員会連絡協議会教育長・教育委員研修会（動画配信）
令和7年1月	1回				<ul style="list-style-type: none"> 市町村教育委員会研究協議会（動画配信） 千葉県市町村教育委員会連絡協議会教育長・教育委員研修会 市町村教育委員会研究協議会（後期・オンライン）
2月	1回				<ul style="list-style-type: none"> 市町村教育委員会研究協議会（後期） 千葉県都市教育長協議会第3回役員会（書面開催）
3月	2回				

教育委員会議における審議

開催日	議題	傍聴数
令和6年 第4回定例会 4月2日	議案第1号 白井市教育委員会公告式規則の一部を改正する規則の制定について 報告第1号 要保護・準要保護児童生徒の認定について 委員質疑 小・中学校と教育委員会ホームページのレスポンシブ対応について 白井市公式LINEメニューの学校連携について	2
第5回定例会 5月7日	議案第1号 白井市生涯学習推進委員会委員の委嘱について 議案第2号 白井市学校給食センター運営委員会委員の任命について 議案第3号 白井市文化財審議会委員の委嘱について 議案第4号 令和6年度白井市教育委員会事務事業点検評価委員の選任について 議案第5号 令和6年度白井市教育費補正予算案について 議案第6号 準要保護児童・生徒の認定に係る審査について 報告第1号 白井市学校評議員の委嘱について 報告第2号 白井市学校運営協議会委員の任命について 報告第3号 要保護・準要保護児童生徒の認定について	0
第3回臨時会 5月24日	議案第1号 職員の懲戒処分について	—
第6回定例会 6月4日	議案第1号 白井市子ども・若者育成支援協議会委員の任命について 議案第2号 白井市放課後子どもプラン推進委員の任命について 議案第3号 白井市文化会館運営協議会委員の任命について 議案第4号 契約の変更議案に係る意見聴取について 報告第1号 白井市生涯学習推進委員会委員の委嘱について 報告第2号 白井市学校運営協議会委員の任命について 報告第3号 白井市学校給食センター運営委員会委員の任命について 報告第4号 白井市民プールにおける開設期間、利用時間及び利用料金の変更について 報告第5号 要保護・準要保護児童生徒の認定について	5
第7回定例会 7月3日	議案第1号 準要保護児童生徒の認定に係る審査について 報告第1号 専決処分について 報告第2号 要保護・準要保護児童生徒の認定について	2
第4回臨時会 7月19日	議案第1号 令和7年度使用教科用図書の採択について	0
第8回定例会 8月6日	議案第1号 令和6年度白井市教育費補正予算（第4号）案について 議案第2号 令和6年度白井市教育費補正予算（第5号）案について 報告第1号 白井市子ども・若者育成支援協議会委員の委嘱及び任命について 報告第2号 要保護・準要保護児童生徒の認定について 委員質疑 中学生の自転車通学用ヘルメットについて	4
第9回定例会 9月3日	議案第1号 白井市教育支援委員会委員の委嘱及び任命について 議案第2号 使用料等の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例の制定議案に係る意見聴取について 報告第1号 要保護・準要保護児童生徒の認定について	3
第5回臨時会 9月11日	議案第1号 契約の変更議案に係る意見聴取について	2
第10回定例会 10月1日	議案第1号 準要保護児童生徒の認定に係る審査について 報告第1号 令和7年度白井市予算編成方針について 報告第2号 要保護・準要保護児童生徒の認定について	3
第6回臨時会 10月7日	議案第1号 令和6年度白井市教育費補正予算（第6号）案について	2

開催日	議題	傍聴数
第11回定例会 11月5日	議案第1号 令和6年度末及び令和7年度白井市小中学校職員の人事異動方針について 議案第2号 白井市学習等供用施設の指定管理者の指定議案に係る意見聴取について 議案第3号 白井市白井駅前公民館の指定管理者の指定議案に係る意見聴取について 議案第4号 令和6年度白井市教育費補正予算（第7号）案について 報告第1号 全国学力・学習状況調査結果の公表について 報告第2号 要保護・準要保護児童生徒の認定について	1
第12回定例会 12月4日	議案第1号 白井市スポーツ推進委員会委員の委嘱及び任命について 議案第2号 白井市就学援助費支給規則の一部を改正する規則の制定について 議案第3号 令和6年度白井市教育費補正予算（第8号）案について 報告第1号 専決処分について 報告第2号 要保護・準要保護児童生徒の認定について	6
令和7年 第1回定例会 1月7日	議案第1号 教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況に係る点検及び評価 に関する報告書（案）について 議案第2号 準要保護児童生徒の認定に係る審査について 報告第1号 要保護・準要保護児童生徒の認定について	1
第2回定例会 2月5日	議案第1号 白井市学校運営協議会委員の委嘱及び任命について 議案第2号 白井市附属機関条例の一部改正に係る意見聴取について 議案第3号 白井市教育委員会附属機関規則の一部を改正する規則の制定について 議案第4号 令和6年度白井市教育費補正予算（第11号）（案）について 議案第5号 令和7年度白井市教育費当初予算（案）について 議案第6号 白井市優良児童生徒表彰の推薦について 報告第1号 要保護・準要保護児童生徒の認定について	3
第3回定例会 3月4日	議案第1号 白井市学校運営協議会委員の委嘱及び任命について 議案第2号 白井市スポーツ推進委員の委嘱について 議案第3号 白井市特別支援教育就学奨励費支給規則の一部を改正する規則の制定につ いて 議案第4号 準要保護児童生徒の認定に係る審査について 議案第5号 白井市優良児童・生徒表彰の推薦について 報告第1号 白井市教育支援委員会の結果及び就学について 報告第2号 要保護・準要保護児童生徒の認定について	1
第1回臨時会 3月21日	議案第1号 白井市教育委員会行政組織規則の一部を改正する規則の制定について 議案第2号 白井市学校給食センター管理規則の一部を改正する規則の制定について 議案第3号 令和7年度白井市教育費補正予算（第1号）案について 報告第1号 令和6年度末及び令和7年度白井市小中学校職員人事異動について	0